研究データ利活用協議会
RDUF
Research Data Utilization Forum

研究データへのDOI登録促進

2021年11月

研究データ利活用協議会
RDUF
Research Data Utilization Forum

- ◆ 概要
- ◆ 設立の背景
- ◆ 活動予定

概要

◆ **設置**

2021年11月～2022年10月

◆ **委員長**

（11/18決定）

◆ **目的**

- 国内（JaLC）における研究データへの **DOI（デジタルオブジェクト識別子）** 登録について、実際に登録が開始された2015年当時と比較すると現在は運用経験の蓄積が進んでいる。
- 一方で、ジャーナル論文・書籍等と比較すると研究データへの DOI 登録はあまり進んでいない。
- **オープンサイエンスの拡大や、引用など学術成果としての活用において、研究データへの DOI登録の重要性は今後ますます高まると考えられる。**
- 現在の研究データへの DOI 登録に関する運用経験、実情、課題等を調査・議論し、「研究データへの DOI 登録ガイドライン」の改定、あるいは現状に即した成果物としてとりまとめることで、研究データへの DOI 登録促進を目指す。

概要

◆ メンバー（2021年11月16日時点）

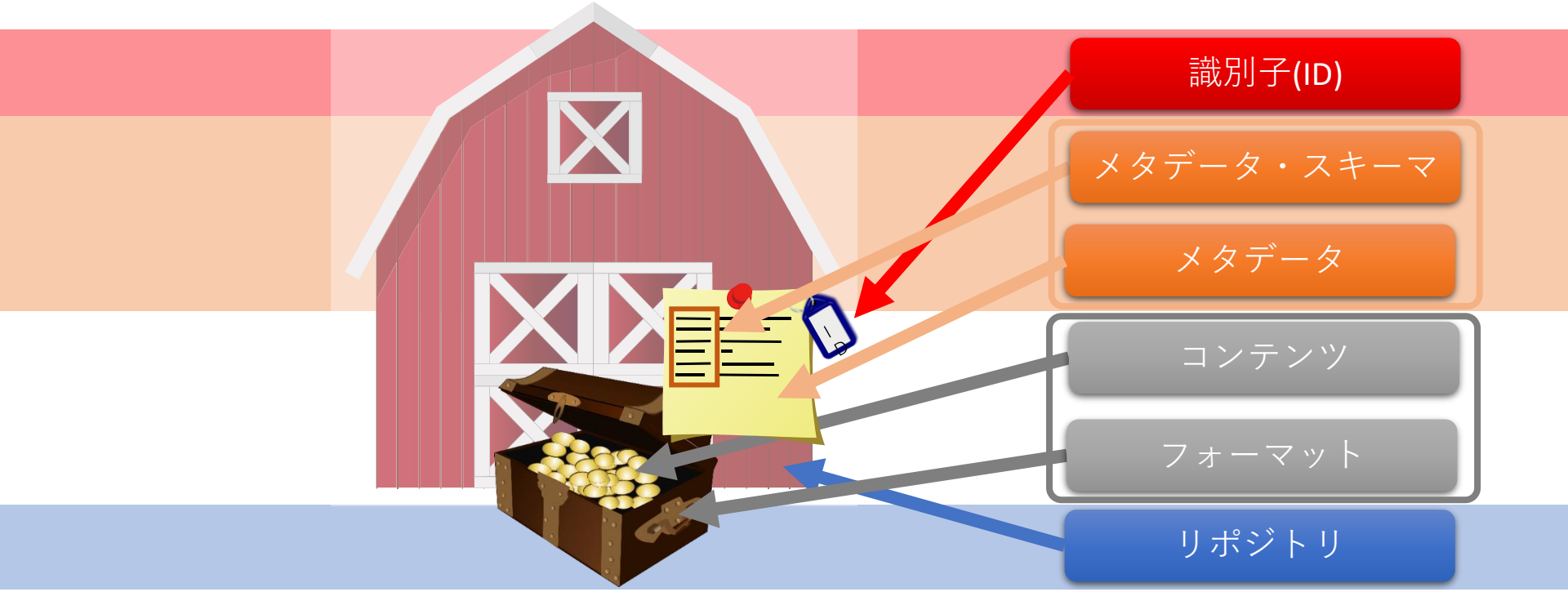
- 海老沢 研（宇宙航空研究開発機構 宇宙科学研究所）
- 門平 卓也（物質・材料研究機構）
- 北本 朝展（国立情報学研究所）
- 白井 知子（国立環境研究所）
- 髙井 貴子（日本医療研究開発機構）
- 武田 英明（国立情報学研究所）（発起人）
- 武部 竜一（XSPA）
- 中島 律子（科学技術振興機構）（発起人）
- 中西 秀哉（核融合科学研究所）
- 林 和弘（文部科学省 科学技術・学術政策研究所）
- 林 祥介（神戸大学　理学研究科　惑星学専攻・惑星科学研究センター／日本気象学会学術委員会データ利用部会）
- 南山 泰之（国立情報学研究所）
- 村山 泰啓（情報通信研究機構 NICT ナレッジハブ）
- 八塚 茂（科学技術振興機構 バイオサイエンスデータベースセンター）

➔研究データへのDOI登録実務者や本テーマに関心を持ったRDUF会員等

設立の背景

◆ 研究データへのDOI登録の意義

➔研究データの共有・公開・流通促進のために分野を超えて共通する識別子を付与する



設立の背景

「研究データへのDOI登録実験プロジェクト」

- DOI登録機関「ジャパンリンクセンター（JaLC）」が立ち上げたプロジェクト。
- 当時、世界的にも様々な課題検討が進められている段階であったことを踏まえ、研究データへのDOI登録を開始するのに先立ち、特有の課題抽出とその解決、運用方法の確立、DOIの活用方法などの検討を実験プロジェクトとして行い、我が国における研究データへのDOI登録の仕組みの構築を目指した。

◆ 実施期間

2014年10月～2015年9月

◆ 参加機関（敬称略、順不同）

国立研究開発法人 科学技術振興機構
大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構 国立極地研究所
大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構 国立情報学研究所
国立研究開発法人 産業技術総合研究所
国立研究開発法人 情報通信研究機構
千葉大学附属図書館
国立研究開発法人 物質・材料研究機構
国立研究開発法人 理化学研究所 脳科学総合研究センター神経情報基盤センター

設立の背景

「研究データへのDOI登録実験プロジェクト」

◆ **成果物**

「研究データへのDOI登録ガイドライン」（日本語版・英語版）

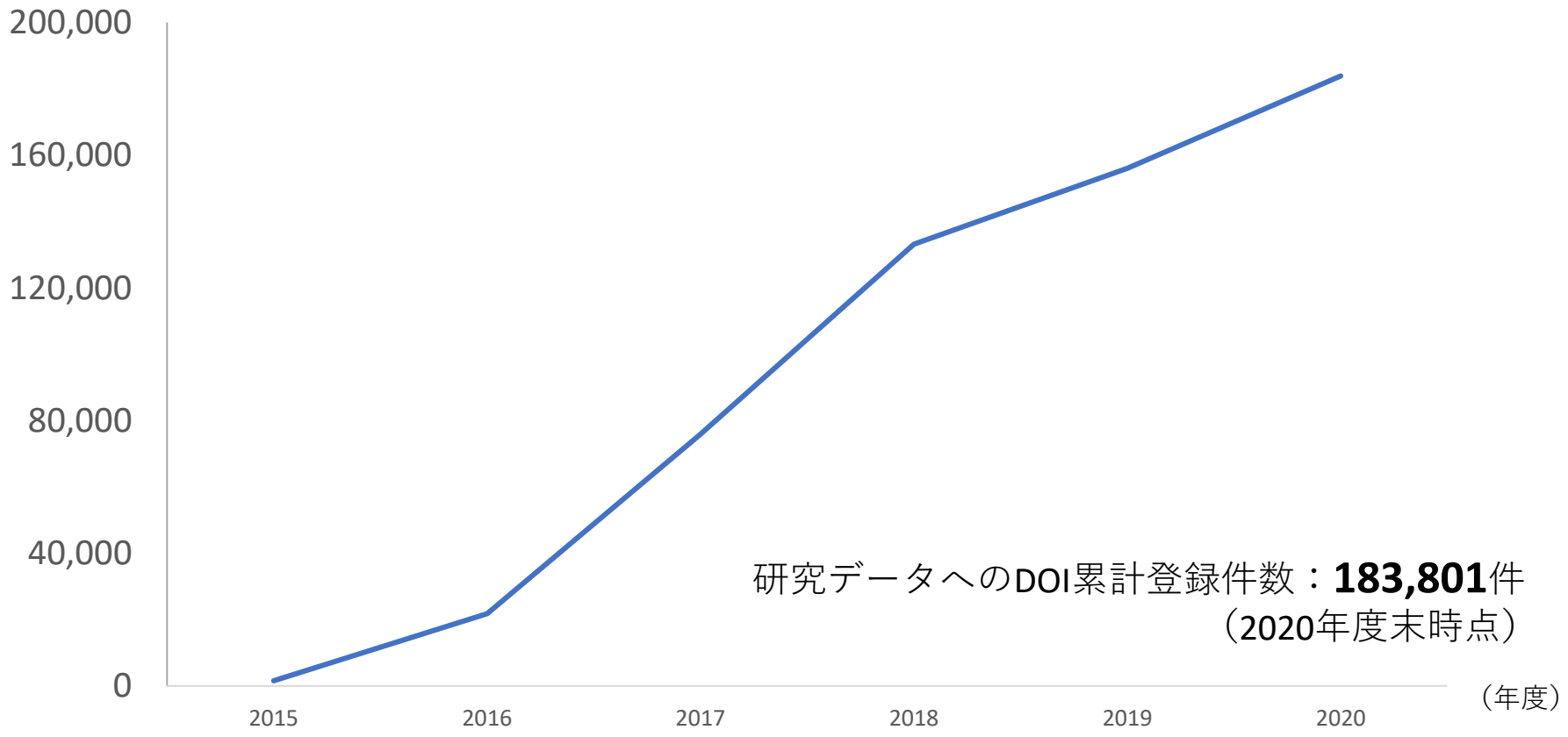
- DOI登録時のワークフロー
- DOI登録の対象データ、品質に関する考え方
- アクセスの持続性の保証
- DOI登録対象の粒度
- DOIのランディングページ
- 用語集　　・・・等

➔JaLCにおいて研究データへのDOI登録を希望する会員の参考資料として活用される

研究データ利活用協議会
RDUF
Research Data Utilization Forum

設立の背景

◆ JaLCにおける研究データへのDOI累計登録件数の変化

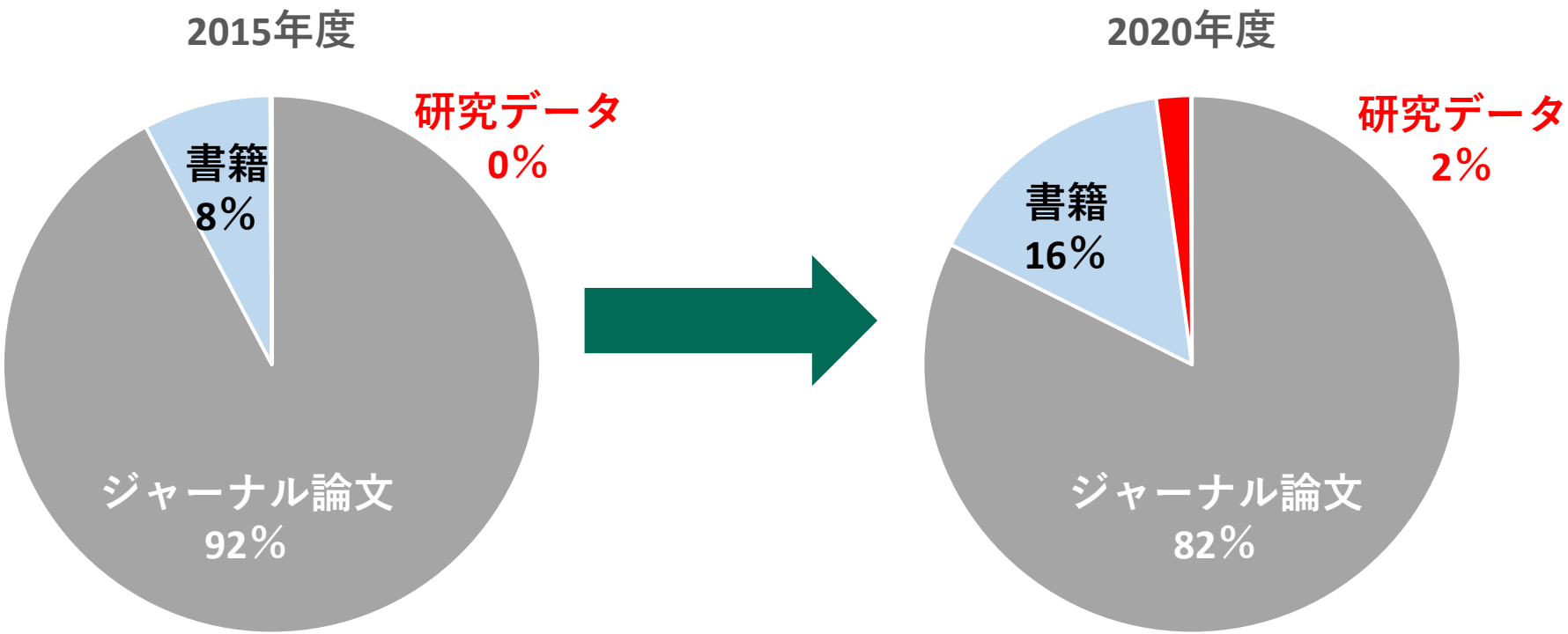


研究データへのDOI累計登録件数：**183,801**件
（2020年度末時点）

ジャパンリンクセンター　令和2年度運営実績より
（https://japanlinkcenter.org/top/doc/report_FY2020.pdf）

設立の背景

◆ JaLCにおける研究データの登録割合の変化



ジャーナル論文・書籍等と比較すると
研究データへの DOI 登録はあまり進んでいない・・・

設立の背景

本小委員会の設立により、

- 現在の研究データへの DOI 登録に関する運用経験、実情、課題等を調査・議論する。
- 「研究データへの DOI 登録ガイドライン」の改定、あるいは現状に即した新しいドキュメントを作成することについて検討する。

➔「研究データへの DOI 登録ガイドライン」改定版等ドキュメントや、検討・調査結果等を成果物としてとりまとめることで、研究データへの DOI 登録促進を目指す。

活動予定

月に１～３回程度の打ち合わせを行い、以下を進める。

・「研究データへの DOI登録ガイドライン」（仮）内容の確認、
　改定箇所・進め方検討
・　国内外における研究データへの DOI 登録状況の調査
・「研究データへの DOI 登録ガイドライン」（仮）改定作業
・「研究データへの DOI 登録ガイドライン」（仮）改定版の英訳作業

その他、必要に応じて調査結果等のとりまとめを進める。

年間スケジュール案

2021年11月　　メンバー募集、調査・情報収集開始
　　公開シンポジウムにて小委員会紹介
2022年4月頃　成果物とりまとめ・作成開始
　　9月頃　成果物について企画委員会審査、公開
　　10月頃　活動報告書作成・提出